

【部課名： 市長公室 政策推進課 】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
ヘルスケアデータ基盤構築事業		スマートフォンアプリにより、運動、栄養に関する自身の健康状態を統合的に見える化し、その人にあった健康向上プログラムを提供することにより、市民が未病予防対策を主体的に実践し、病気になる身体づくりに取り組めるよう支援する。			指標	総計の現状値	R6実績値	健康づくり業務所管課と連携し、アプリ利用者向けの測定会や体質チェックを「健康状態見える化シリーズ」として、計8回実施するなど、スマートフォンアプリ「いずみおおつ マイ・レコ」を通して、市民のヘルスリテラシーを高め、未病予防対策を主体的に実践できる環境づくりにつながる取組みを実施することができた。	誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくりの実現に寄与し、未病予防対策先進都市をめざし制定された「泉大津市健康づくり推進条例」による目指す姿を実現するうえで、スマートフォンアプリを活用した事業の進め方については、その利用率や費用対効果を鑑み、関係部門で見直しを進める。
総合計画の位置づけ					健康に関心があり、健康活動に取り組んでいる市民の割合	67.2%	70.7%		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち				健康チェック実施者数	4,115人	5,499人		
個別目標	ヘルスリテラシーが高くそれぞれの身体と心の状態にあった多様な健康づくりが実践できるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	14,429	7,268					
		R6決算見込額	7,930	7,930					
個別目標の方向性	一人ひとりが未病予防対策を主体的に取り組むことのできる環境づくりを進めます	R7予算額	9,987	9,987					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
フカキ夢・ひとづくり事業		国際化・グローバル化が進展するなかで、国際的な視野を持ち、自分で考え行動を起こせる人材を育成するため、深喜人材育成基金を活用し、市内在住の中・高校生等を対象に、研修費の助成を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	オンライン英語研修「定期講座」では、ZOOMを活用した全国の中高生との英語でのグループワークや配信型授業・自主学習コンテンツでの文法や単語習得を完全オンライン型で実施した。合宿型英語研修「イングリッシュキャンプ」では、例年の春シーズンに加え、夏にも研修を実施した。また、遠方での研修でも参加しやすいよう、市役所から研修地までの送迎を開始した。昨年度に比べて参加者数が4名から14名に増加し、参加者および保護者から満足の声をいただくことができた。オンライン英語研修には延べ6名、合宿型英語研修には14名が参加した。 参加者からは、「海外で働いたり、日本で通訳の仕事をした」と考えるようになった。」「英語を学ぶと将来できることの幅が広がる」といった意見をいただいており、人材育成に寄与することができた。 さらに定期講座募集期間中には、研修のプログラムを体験できる啓発事業を実施した。7月の体験会には16名、11月には24名参加いただき、市内の中高生に本研修の魅力を発信することができた。	今後は、グローバル時代にふさわしい人材のさらなる育成を図るため、実際に海外の環境に身を置いて現地の人や文化・食に実際に触れながら学ぶことができる海外での研修の方が原体験に繋がることから、その実現に向けた調査・研究を行う。
総合計画の位置づけ					グローバル人材育成研修参加者のうち、今後海外で活躍することに興味を持った参加者の割合	64.3%	65%		
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち				グローバル人材育成研修に参加した人数	14人	20人		
個別目標	グローバル社会に対応しながら平和を願う気持ちを大切に世界で活躍できる力を身につけられるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	1,069	0					
		R6決算見込額	2,081	0					
個別目標の方向性	グローバル社会において活躍できる人財を育成します。	R7予算額	3,835	0					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
国際交流事業		市民と市内在住・在勤・在学の外国人との交流の機会を作り、多文化共生のまちづくりをめざす。 泉大津国際交流協会と連携し、本市の国際交流や異文化理解を推進する。			指標	総計の現状値	R6実績値	市の防災イベントにおいてブースを設置し、過去に国際交流協会の事業として実施した「外国人と学ぶ防災入門ワークショップ」の内容の掲示や外国人向け防災ガイドの紹介を行い、外国人の防災に関する情報を周知することができた。 民間のノウハウや知見を活かし、事業をより円滑に実施することを目的に、泉大津国際交流協会の事務局の一部を事業者へ委託した。事業者と協力しながら、市民と外国人との国際交流を推進することができた。	本市の国際交流をさらに推進するため、泉大津国際交流協会と連携・協力するとともに、協会事業の支援や周知に努める。 海外友好都市であるオーストラリア グレーター・ジローン市との連携再開に向け、令和7年度に表敬訪問および協議を行う。
総合計画の位置づけ					自分とは違う価値観・慣習・文化の多様性を理解しようと心がけている市民の割合	73.4%	70.7%		
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち				市が関わる国際交流活動に参加した人数	142人	193人		
個別目標	グローバル社会に対応しながら平和を願う気持ちを大切に世界で活躍できる力を身につけられるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	2,153	2,148					
		R6決算見込額	1,617	1,494					
個別目標の方向性	国籍や文化等の違いを理解しあい共感しあえる環境づくりに努めます	R7予算額	2,665	1,293					

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
行政評価事業		市が行う施策や事業を「市民にとってどのような成果を得られたのか」、「事業本来の目的をどれだけ達成できたか」という視点から評価・検証を行うことにより、限られた財源を有効に活用し、効率的で質の高い行政サービスを実現させることを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和５年度に実施した事務事業について、担当課長が事務事業評価シートにより自己評価を実施し、有識者及び公募市民によって構成される泉大津市事務事業評価委員会にて選定した３事業について議論・評価を行った。その結果、改善に向けた委員会からの提言として自治会活動助成事業についてDX化による効率化が必要との意見が出るなど、事業の改善を図るきっかけを得ることができた。	質の高い行政サービスを提供するために引き続き行政評価事業は実施していく必要があるが、行政評価の実施に伴う各部局への負担が大きくなりたくないよう、実施方法の効率化を図る。
総合計画の位置づけ					社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合	41.7%	41.3%		
基本目標	新たな力を取り入れ柔軟にアップグレードし続けるまち				デジタル技術の活用により自動化した入力業務の件数（RPAの導入累計件数）	11件	14件		
個別目標	デジタル技術や民間活力の導入と改革により柔軟で健全な行政サービスの提供と持続可能な行財政運営がなされるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
個別目標の方向性	事務事業の見直しや再構築等適正な内部統制による業務の効率化と改革を推進します	R5決算額	81	81					
		R6決算見込額	82	82					
		R7予算額	122	122					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
業務改革推進事業		少子高齢化に伴う社会構造の変化や増加する自然災害への対応など、自治体の担う役割が増大する中、これらに対応するための業務改革を推進し、市民サービスの維持・向上を図ることを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	新たに２業務にRPAを導入し、業務効率化を図った。また、令和２年度より各種申請のオンライン申請の導入を推進しており、令和５年度末時点において、オンライン申請できる手続き数は100件未満だが、令和６年度末時点では約250件となった。 行財政改革推進本部会議を通じて全庁的にオンライン化を推進したことで、手続き数を大幅に増やすことができた。	オンライン化可能な行政手続きを整理し、行政手続きのオンライン化を推進するとともに、市民の方に積極的に活用してもらえるよう、オンライン化されている手続きに関する積極的な広報を行う。 職員の業務効率化を推進するため、生成AIの本格導入を行い、その積極的な活用を促すことに加えて、RPAについては、入力作業中に止まるケースが散見されることから、止まらずに動くツールについて調査・研究する。
総合計画の位置づけ		RPAやビジネスチャット・Web会議等のさらなる活用をはじめ、行政手続きのオンライン化を拡充することで市民の利便性向上と業務の効率化を図る。			行政手続きがデジタル化されていると思う市民の割合	55.2%	54.3%		
基本目標	新たな力を取り入れ柔軟にアップグレードし続けるまち				オンライン申請可能な手続き数	52件	251件		
個別目標	デジタル技術や民間活力の導入と改革により柔軟で健全な行政サービスの提供と持続可能な行財政運営がなされるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
個別目標の方向性	デジタル技術の活用等により時間や場所に制約を受けない等利便性と質の高いサービスの実現を目指します	R5決算額	7,182	7,182					
		R6決算見込額	8,661	5,775					
		R7予算額	14,510	14,510					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
インバウンド観光促進事業		インバウンドの市内周遊及び市内飲食店の利用促進を図ることを目的に、日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語の４か国語に対応した観光グルメマップおよびWEBページを作製。今後はマップの重版を行うとともに、ホームページ等を用いて周知を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	観光グルメマップは、公共施設・市内飲食店・観光スポットへマップを配架するとともに、市のイベント等でも配布を行った。 WEBページでは、泉大津市のグルメや観光スポットの掲載にとどまらず、特産品の紹介、シェアサイクルでの市内周遊コースの掲載等幅広く市の魅力を発信することができた。	マップについては、それぞれの言語の需要を把握し、今後の重版部数を検討していく。WEBページでは、市内観光スポット及び飲食店の追加・修正等、最新情報を維持する必要がある。
総合計画の位置づけ					魅力発信に関わる特設HPの閲覧数	5500件	49930件		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち								
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
個別目標の方向性	市の魅力を協力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R5決算額	4,950	0					
		R6決算見込額	2,387	2,387					
		R7予算額	1,644	792					